

山車展示室・スクリーンシアター

○ 氣比神宮例大祭のときに巡行する勇壮華麗な山車6基を収納、その内3基を展示し、定期的に入れ替えをします。また、スクリーンに迫力ある映像(15分)が映し出され、3基のうち1基が、放映の最後にせり出し、祭りの臨場感を味わっていただけます。

常設展示室

○ 山車の舞台の飾りにかつて用いられた鎧・兜・能面・飾り太刀・飾り武者・飾り馬等を展示しています。

別館

○ 旧大和田銀行創業地の社屋を活用し、大和田銀行の資料や栄華を誇った「北前船」関係の資料等を展示しています。

○ 「関ヶ原の合戦」の様子を表す観世屋町山車に敦賀城主であった大谷吉継の武者人形が飾られていることから、それらに関わる資料を展示しています。

ご利用案内

■ 入館料 【通常】
一般300円 団体250円(団体：20人以上)
高校生以下は無料です。
【博物館との共通入館】
一般500円 団体400円(団体：20人以上)

■ 開館時間 午前10時から午後5時まで

■ 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休)
祝日の翌日
年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)
館内メンテナンス期間

■ お 願 い 館内での喫煙、飲食はご遠慮ください。

■ 交通案内

- ◎ JR敦賀駅から
徒歩約25分(約2km)、タクシー利用約5分
《市内バス案内》
・ぐるっと敦賀周遊バス「観光ルート」……『博物館通り』バス停下車すぐ
・コミュニティバス「松原線」……『山車会館』バス停下車すぐ
- ◎ 氣比神宮から
徒歩約8分(約700m)、市内バス又はタクシー利用約3分
- ◎ 北陸自動車道敦賀インターから自家用車利用約7分

■ 案内図



山車会館へ
まいらねよ

敦賀市公認キャラクター
敦賀城主 大谷吉継『よっしー』

みなとつるが山車会館

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番6号
TEL.0770-21-5570 FAX.0770-21-5572

みなとつるが山車会館 検索

みなとつるが山車会館



つるがの秋を彩る山車の装い



鶺鴒ヶ辻子山車



金ヶ辻子山車〔市指定文化財〕



観世屋町山車



御所辻子山車〔市指定文化財〕



唐仁橋山車〔市指定文化財〕



東町山車

甲冑



能面



水引幕



きよゆうそうほす 許由巢父図

御所辻子山車使用



ちやうりやう しばきしゆす 張陵と司馬季主図



スクリーンシアター

敦賀の山車の歴史

敦賀の山車の起源はさだかではないが、室町末期には成立したと思われる。このことは、天正3年(1575)織田信長の氣比社祭礼見物の伝説からもうかがえる。また、寛永19年(1642)小浜藩初代藩主酒井忠勝、寛文3年(1663)の二代忠直の山車観覧記録も残っている。

江戸時代にあつては、6町ずつに分かれ8月3日～4日に隔年山車を曳き出していた。山車は、少ない年で30基、多い年には50基も曳き出され賑わった。

明治6年(1873)、個人の山車を廃止するとともに、町で曳き出す大山車を小山車に変更し、曳き山町12町から12基が巡行することとした。また、太陽暦が採用されたことで9月3日は神輿、4日は山車が巡行することになった。

昭和20年7月12日の戦災で山車の多くが焼失したが、多くの人たちの努力でようやく6基が復旧・復元した。そして、平成9年に山車会館が完成し、6基の山車を収納、昔の姿をしのぶことができるようになった。山車の特徴は、武者人形に実物の甲冑・能面、華麗な衣裳をつけて飾ることにある。